

令和2年度年間受賞句が決定しました



風流のはじめ館

令和2年度須賀川市俳句ポスト

第3号
令和3年3月号

年間特選句

牡丹賞

風流や下がれ下がれの田うゑ唄

武田 喜代子

ぼたん賞

雪の雲空にひろがり立ち止まる

高倉 天也

赤松賞

勢至堂峠越えきし風花よ

古川 春枝

あかまつ賞

はく息の白さマスクに閉じこめる

田中 瑞希

翡翠賞

末黒野や疎水の一番水通る

関根 邦洋

かわせみ賞

そうめんの皿にひろがるオクラの星

柳沼 奏羽

西袋第一小3年

年間入選句

たね四つあさがおのみのへやのなか

柏城小1年 星れのん

げんかんにあそびにきてたこがね虫

柏城小2年 荒川 愛斗

ぼうぼうと聞こえてくるよつゆの音

柏城小3年 鈴木 良菜

ゆきたちがみんなに会いにとんできた

阿武隈小3年 吉田 心爽

冬のかげみんなの足にくつつくよ

柏城小5年 菅野 美玖

鳥たちがにじのはし行く雨あがり

阿武隈小6年 緑川 衣真

冬に入る朱の大橋と五大堂

岩瀬中2年 川田 翼

年間優秀校 等躬賞

須賀川市立阿武隈小学校

投句募集

第2回入選句は、
風流のはじめ館HP
にて紹介しています。
<https://s-furyu.jp/>

俳句ポスト

四季折々の須賀川の
花や空、鳥や虫、山や雲
あなたが見たもの
出会ったものを俳句に。
あなたの
みずみずしい一句を
お届けください。

募集期間 通年
選句会 年2回(8月 2月)
部門 一般の部・子どもの部
各賞 牡丹賞・赤松賞・
翡翠賞・等躬賞
学校の部



「語り継ぐいのちの俳句」展

2021 開催



「語り継ぐいのちの俳句」展 2021
俳人 高野ムツオ × 写真家 佐々木隆二

「あの日」から10年、震災を共に乗り越えてきた二人による「震災」と「写真」のつながりを通して「語り継ぐいのちの俳句」展。→「10年前のあの日は、佐々木隆二先生、高野ムツオ先生、両先生から高野ムツオ先生の震災俳句20句とその詠集を収めた本展、二人の写真と合わせて展示します。」

2021.3.1【月】～3.31【水】
9:00～17:00 観覧無料 観覧券 概ね無

2021.3.14【日】13:30～15:00
高野ムツオ先生講演会 観覧券 概ね無

ギャラリートーク Gallery talk
2021.3.14【日】13:30～15:00
高野ムツオ先生講演会 観覧券 概ね無

高野ムツオ 一休のうたのこころ
佐々木隆二 一休のうたのこころ

風流のはじめ館

震災から10年を機に、俳句を通して東日本大震災を記録した、高野ムツオ氏の著作『語り継ぐいのちの俳句』3・11以後のまなざし』（朔出版）からの震災詠と自解に、写真家・佐々木隆二氏の写真を合わせた26作品のパネル展を開催しています。（3/1～3/31）



3/14

俳人、高野ムツオ氏と
永瀬十悟氏による
ギャラリートーク

未曾有の天変地異は、俳句をはじめとした文学にも大きな影響を与えました。被災者でもあるお二人は体験を丹念に掬い上げ言葉に刻みました。両先生のトークは、胸を突かれ心に響き、ときにユーモアを交えての楽しいひと時でした。



すかがわ大人塾 3月

第三回

声とこころを鍛える

音読入門

講師 丹治道子先生
（読み聞かせサークル「ポケット」
須賀川混声合唱団団員）

詩や童話などの音読を
楽しむ講座



3/10
3/17

講師のアドバイスにより、参加者のテキストへの向かい方、声の出し方、読み方が変化しました。声を出す楽しさが実感できた講座でした。



テーマ展

東日本大震災を詠む

―次世代に伝えるふくしまの言葉―



第57回（2011年）角川俳句賞受賞作品

ふくしま 五十句 永瀬十悟

〈主な展示作品〉

- ふきのたう余震の中に目をひらく 森川光郎
- 大地震や春星青き火を放つ 砂田千代
- 三月のひかりこはれて撒かれけり 江藤文字
- 双子なら同じ死顔桃の花 照井翠



3月 言の葉

七十二候

かみなりこえをはつす

雷乃声を発す

三月三十日から四月三日まで

春の訪れを告げる雷が鳴りはじめるころです。

鳥がさえずり、緑が

萌え 花々が咲き誇る

季節です。お花見。それは、

いつの時代も待ち遠しいもの。

人はみななにかにはげみ初桜

深見けん二



